

◇あとがき◇

特定機能病院や基幹病院の責務として、24 時間対応の救急医療体制があげられますが、実際には開院時間を 1 とすると、時間外診療は多くの病院で 3 に相当します。つまり、1 年 365 日のうち、全スタッフがそろって開院している時間は全体の 1/4 にすぎず、夜間・祝祭日に救急センターで診療している時間が残りの多数を占めています。多くの医師は、責務を全うすべく、当直や拘束という名の時間外労働で対応しているのが現状です。この時間帯において、いかに通常運用の医療を維持できるかが、その病院の診療レベルを左右するといっても過言ではないかもしれませんが、実際に理想どおり運用するには多くの努力が必要です。さらに今年から始まった働き方改革の影響で、多くの病院が労働時間の管理やタスクシェアの調整に苦戦していると思います。しかし、人員不足は日本社会全体で顕著になっており、医療界も例外ではありません。各診療科や各病院単位での努力には限界があるため、今後は本当の意味での病病連携や、日本全体のバランスを考慮した人員配置などがさらに必要になってくるでしょう。私たちは小児外科という医療界のなかでも小規模な集団ですが、これまでどおり垣根のない互いに助け合える関係をいっそう発展させていきたいと思っています。皆様のご協力をよろしく願いいたします。

最後に、2 巻にわたって日常診療に役立つさまざまな情報を執筆いただいた先生方に深謝いたします。

(渡井 有)

本誌広告取扱い

文芸社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5 階

TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

「小児外科」第 56 巻第 10 号（2024 年 10 月号）

特集 腸管不全症；基礎研究・臨床のトピックス

短腸症候群モデルマウスの作製……………増田 興 我
腸管神経形成異常症モデルマウスにおける

腸管好酸球の保護的役割……………文田 貴 志
疾患モデルラットによる肝細胞増殖因子の

短腸症候群に対する有用性の研究……………杉田光士郎

腸管神経系の再生医療……………藤原 なほ
スコアリングシステムを用いた isolated

hypoganglionosis の病理診断基準……………玉 城 昭 彦

腸管機能リハビリテーションの現状と今後の課題…田 附 裕 子

腸管リハビリテーションとしての外科手術が

奏効した短腸症候群症例……………松 井 淳

短腸症候群患児の発達促進のための

多職種協働支援……………木村ゆみ子

腸管不全症に対する GLP-2 アナログ製剤使用の現況…山 田 洋 平

短腸症候群における腸内細菌叢と D 乳酸

アシドーシスの発症……………中 村 恵 美

短腸症候群に伴う D 乳酸アシドーシスに対する

糞便移植……………川口雄之亮

短腸症候群における必須脂肪酸欠乏の予防と治療

—血清脂肪酸分画と便脂肪染色による経静脈的

脂肪乳剤投与量の決定—……………久松千恵子

魚油由来脂肪乳剤投与による脂質プロファイルの変化…森井真也子

短腸症候群に対する在宅中心静脈栄養の長期予後…永 田 公 二

短腸症候群患者における静脈栄養離脱後の問題…荒 井 勇 樹

HPN 下の腸管不全症例における妊娠管理の経験…伊 崎 智 子

腸管不全患者における間接熱量計を用いた

エネルギー必要量の推定……………高 橋 正 博

超短腸症候群症例の解析から新戦略へ……………武 藤 充 夫

わが国における小腸移植の現況……………阪 本 靖 介

腸管蠕動不全症例に対する小腸移植における

自己腸管温存……………城 崎 浩 司

名誉編集委員

秋 山 洋 石 原 通 臣 岩 中 督

大 沼 直 躬 大 谷 俊 樹 角 田 昭 夫

土 岐 彰 長 島 金 二 橋 都 浩 平

山 崎 洋 次 横 森 欣 司 北 川 博 昭

編 集 委 員

黒 田 達 夫 浮 山 越 史 金 森 豊

越 永 従 道 世 川 修 渡 井 有

古 田 繁 行

小児外科

第 56 巻第 9 号

©2024 年 9 月 25 日発行

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

編集 小児外科編集委員会

発行 株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-3237-9112（直）FAX 03-3237-9115

e-mail: shoge@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 TEL 03-3265-3551（代）FAX 03-3265-2750

e-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2024 年前金予約購読料 1 年分 49,280 円（本体 44,800 円＋税 10%）

（小児内科・小児外科 合同増刊号を含む）

*送料は前金予約購読の方のみ弊社負担です